

## 現地視察のポイント

### ◆ 視点

- 現地の状況を踏まえ、本県の公的関与が必要な森林の範囲についてどう考えるべきか。

### ◆ 調査・ヒアリングのポイント

#### 1. 「条件不利地」・「条件不利な経済林」

- ・ 経営が可能な森林、経営が困難な森林の状況調査
- ・ 実際の現場でそれぞれの範囲をどのように判断しているかヒアリング

#### 2. 「集落管理の森林」

- ・ 集落有林（生産森林組合、記名共有林）の現状調査
- ・ 集落管理の実態についてヒアリング

#### 3. 「広葉樹（里山、ブナ林等）」

- ・ かつての薪炭林の現状調査
- ・ 広葉樹に対する具体的施業方法についてヒアリング

### ※ 意見交換

- ・ 対象範囲・基準設定、施業方法等の具体化（次回検討）の方向について